

パソコンいわから教室新聞

ビデオ編集は手間がかかりますが、やり始めるとどんどん面白くなり、深みにはまっていくな…そんな作業です。でも、ぜひ習得したい技ですね。



まず、必要な知識

ビデオ編集を行う前に、知っておきたい知識。それはパソコンにデータを保存するということ。やみくもにビデオデータ（デジタルカメラ写真も他の文書不ファイルなどでも同様ですが）をパソコンに取り込むと、取り込んだ後に「何がどこに行っただか？」編集する際もその後も、とても困ることになります。（整理のされていない押し入れの中で一足の靴下を探すようなもの）

カメラで撮影すると、1つのビデオシーン毎に**ファイル**という単位で保存されます。また、それをパソコンに保存する際に、まとめておくものが**フォルダ**というファイルの入れ物です。この**ファイルとフォルダ**の関係をしっかりと頭に入れた上で作業に取り掛かりましょう。



必要なソフトは？

必要なソフトは、ビデオ編集では、Windows パソコンなら「**Windows Movie メーカー**」、Mac なら「**iMovie**」が標準で付属しています。これらのソフトを使用し、取り込んだビデオを編集します。そうして完成したビデオファイルをメディア（DVD など）に書き込みます。

DVD に書き込みます。Mac ではありません。



録するためには、ソフトが必要になります。Windows パソコン「**DVD メーカー**」、Mac「**iDVD**」が付属しています。

また、Windows XP には Movie メーカーはついていますが、DVD メーカーは用意されていませんので、別途用意する必要があります。



編集の手順

① ビデオを取り込む前準備と取り込み

取り込む単位でフォルダを作成します。その後、ビデオを取り込みます。

（取り込む際は作成したフォルダをきれなく指定しましょう。）

シーンを取り込む

編集に必要なビデオシーンをソフトに取り込みます。

② 編集作業

ビデオシーンを再生順に並べ、必要な部分があればカットしていきます。

③ 映像効果の追加

シーンの移り変わりや、色合いなど、シーン毎に効果をつけていきます。

④ 音楽やテキストの追加

シーンに合った音楽やテロップなどを効果的に追加していきます。

⑤ DVD への書き込み

編集したビデオはメニューやタイトルを追加して、DVD を作成しましょう。



作業手順は以上になりますが、最も大事なことは作業するパソコンの性能です。

ビデオ編集や DVD の作成はパソコンに負荷がかかる操作の一つです。あまり性能が低すぎると、思い通り作業できなかつたり、1つの作業で無駄に時間がかかったりします。最近のパソコンは安くてもある程度の性能を備えていますので、問題なく作業できると思います。（CPU、ハードディスク、メモリに十分に余裕がほしいところです。）

ビデオ編集の作業は、パソコンの作業の中でも、手間がかかって面倒なものです。しかし、完成すると手間がかかった分、喜びや満足感はひとしおです。ここまでくれば、**パソコンを「使ってる感」**がよりでてるのでは？。

★それではまた次月！★